

ホームページ掲載原稿

「2008年1月から2012年12月までに川崎医科大学附属病院で再燃前立腺がんと診断され、治療を受けられた患者さんへのお知らせ」

研究課題名：川崎医科大学における転移を有する去勢抵抗前立腺癌の臨床経過とPSA値の推移の検討

当教室では、2008年1月より2012年12月までに、川崎医科大学附属病院で転移を有する前立腺がんで内分泌療法が効かなくなった患者さんについて、その後の治療経過と腫瘍マーカーであるPSAの関連をさかのぼって検討することを倫理委員会により承認を得ました。

本研究の目的は、通常の内分泌療法が効かなくなった状態でもPSAの値が病気の進行度合いとどれくらい一致するかを検討し、今後の臨床現場に役立てることです。この研究結果は、学会演題や学術論文として発表する予定です。本研究はカルテからのデータのみを収集する観察研究であり、患者さんの個人情報をも抹消した状態で解析します。従って、患者さんの個人情報が外部に漏れる心配は全くありません。なお、本研究の分担研究者の一人はアステラス製薬、キッセイ薬品工業、グラクソ・スミスクライン、ファイザー、旭化成ファーマ、大鵬薬品工業、日本新薬、武田薬品工業から学術研究助成を受けています。研究するために必要な資金を製薬会社等から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。本研究では学内研究費のみを使用するため、このような利益相反の状態にはなりません。疑問のある方や研究への参加を希望されない方は、遠慮なく下記の問い合わせ先にご相談下さい。

問い合わせ先

担当者：泌尿器科学 准教授 宮地禎幸

TEL：086-462-1111（内線 44505）

FAX：086-462-1199

電子メール：miyaj@med.kawasaki-m.ac.jp